

委 10-4 :

第6回ロケット打上げ

実験計画書

(昭和47年8・9月期)

昭和47年7月

宇宙開発事業団

第6回ロケット打上げ実験計画

第6回ロケット打上げ実験計画の概要は、次のとおりである。

1. 打上げ実施機関

宇宙開発事業団

東京都港区浜松町2丁目4番地1号

世界貿易センタービル

理事長 島 秀 雄

2. 打上げ場所

宇宙開発事業団種子島宇宙センター

鹿児島県熊毛郡南種子町大字茎永字宇津

東 経 $130^{\circ} 57' 55''$

北 緯 $30^{\circ} 22' 20''$

3. 打上げ期間

昭和47年8月30日から9月8日までの10日間

4. 打上げ実施責任者

副理事長 松浦 陽 恵

5. ロケットの機種と機数

MT-135P型T-3、4号機およびLS-C型6号機の計3機である。

6 実験の目的

(1) MT-135P型T-3、4号機

MT-135P型ロケットは、人工衛星打上げにあたって必要な上層の気象データを観測するための1段式固体ロケットである。

本3、4号機は、種子島上空の風向・風速および気温の観測を目的とする。

(2) LS-C型6号機

LS-C型ロケットは、Nロケットの第2段目に使用する液体ロケットを開発するためのものであり、第1段に固体燃料、第2段に液体燃料を用いる2段式ロケットである。

本6号機では、5号機による実験に引き続いて液体ロケットエンジンの飛しょう環境における性能、機能を確認するとともに、第2段燃焼中にジャイロ信号により、ジンバル制御装置およびガスジェット制御装置を作動させ、これら制御装置の機能、性能を確認することを目的とする。

7 打上げ予定日時

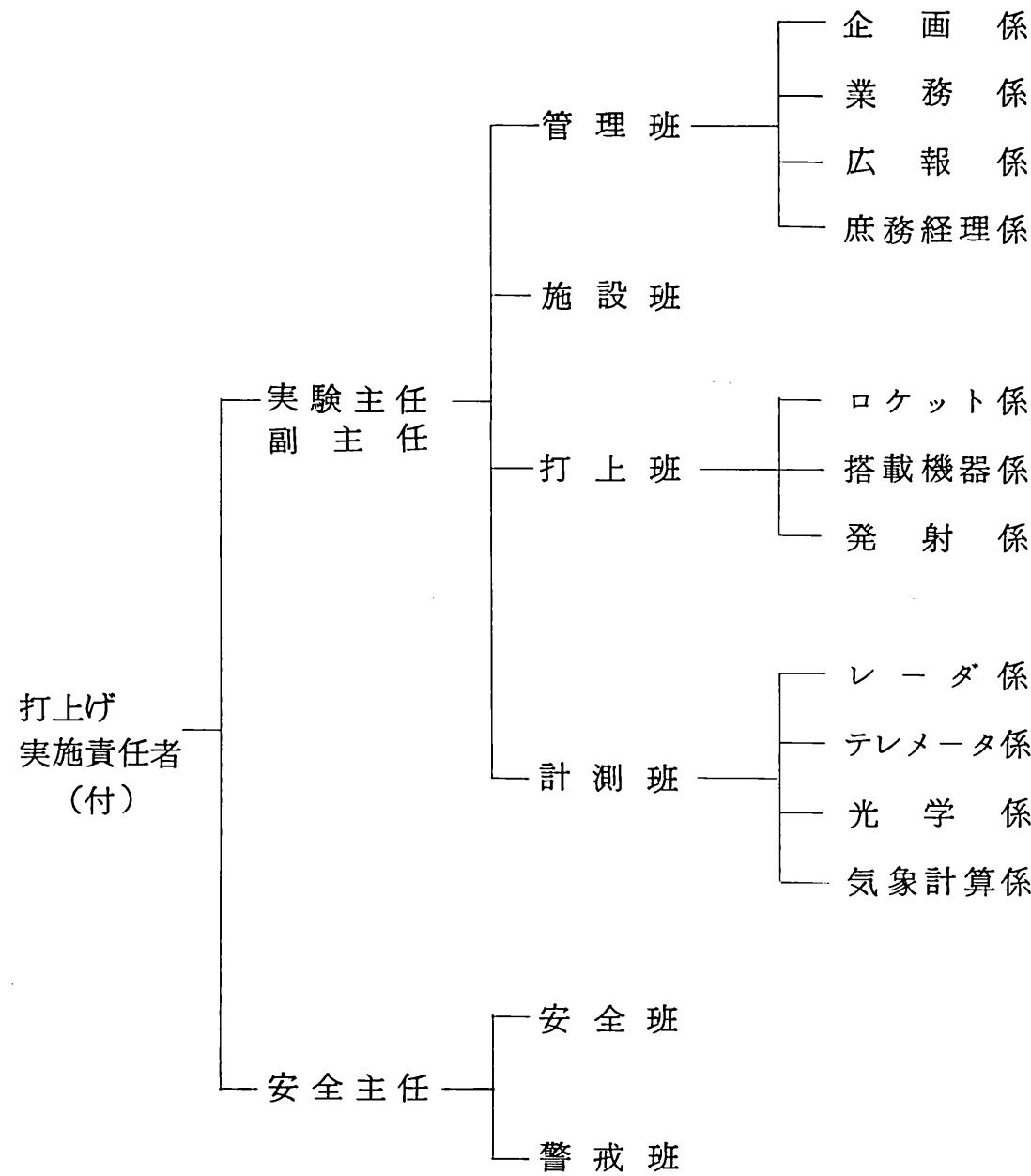
機種	打上予定日	海面落下時間帯	延期する場合の期間および海面落下時間帯
MT-135P型T-3号機	8月30日(水)	10:30~11:00 15:00~15:30 10:30~11:00	8月30日(水)~9月8日(金)
MT-135P型T-4号機	8月30日(水)	15:00~15:30 10:30~11:00 15:00~15:30	8月31日(木)~9月8日(金)
LS-C型6号機	8月31日(木)	15:00~15:30 15:00~15:30	9月1日(金)~9月8日(金)

打上げ予定日に天候その他の都合によって打上げが出来ないときは、「延期する場合の期間および海面落下時間帯」の欄の範囲内で延期する。

なお、この場合他機種のロケットを同一日に打ち上げることはない。変更の理由が天候によるときは、当日できるだけ早く報知する。また、その他の都合によるときは、不測の障害に基づく場合を除き少なくとも前日中に報知する手段を講ずる。

8 打上げ組織

打上げの組織については、下表に示すとおりである。



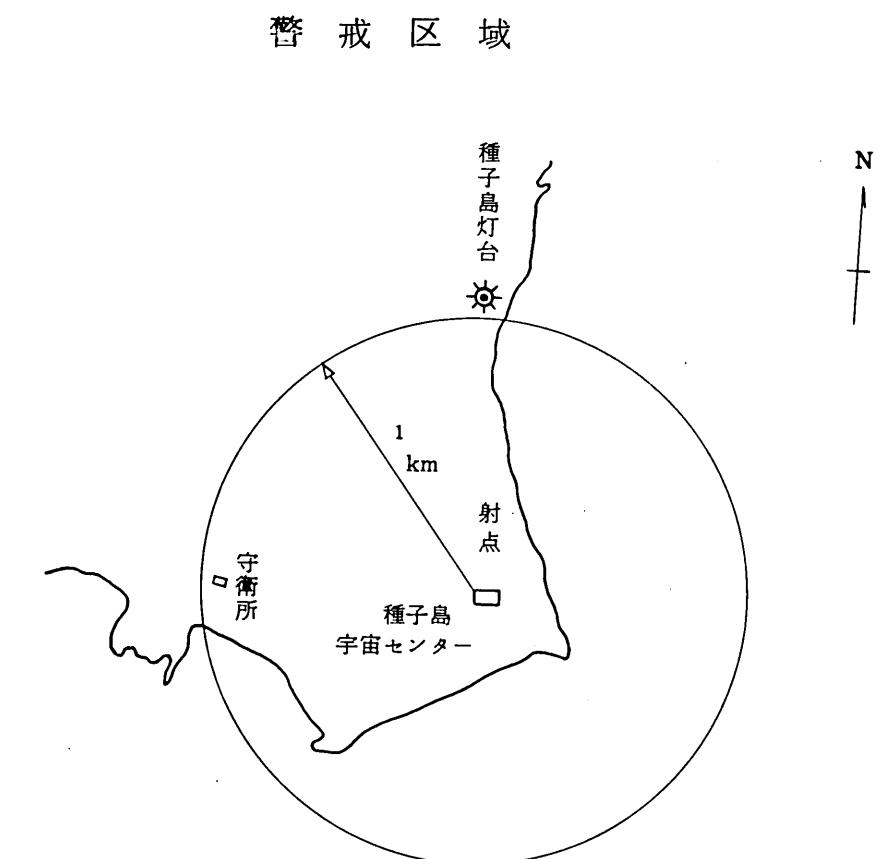
9 安全警戒

安全確保を重視し、次の要領により、警戒を行なう。

(1) 警戒の範囲

ア. 射場および沿岸警戒区域を下図に示す。

イ. 海上については、ロケット落下予想区域として別図に示す。



(2) 陸上の警戒

射場附近の陸上の警戒については、鹿児島県警察本部に依頼する。

射場内の警戒は宇宙開発事業団が担当する。ロケット打上げにあたっては、警戒区域内に一般の人が立ち入らないよう立札等の表示をする。

なお、ロケットの輸送にあたっては別途輸送計画書にしたがって安全の確保に留意しつつ実施し、種子島内の警戒については鹿児島県警察本部に依頼する。

(3) 海上の警戒

海上のロケット落下予想区域の警戒については、第十管区海上保安本部に依頼するが、射場附近の沿岸の警戒については、宇宙開発事業団が担当する。

(4) 航空機に対する警戒

航空機に対する警戒については、大阪航空局鹿児島空港事務所および大阪航空局種子島空港出張所に依頼する。

(5) 射場における警戒表示方法

- ア. 実験当日は、射場内に黄旗を掲げる。
- イ. 打上げ 30 分前に赤旗を掲げる。
- ウ. 打上げ 2 分前に花火を 1 発あげる。
- エ. 各ロケット打上げ終了後は、花火を 2 発あげるとともに赤旗をおろす。
- オ. 非常事態あるいは異常事態発生の際は、サイレンを断続的に吹鳴する。これを解除する際は、サイレンを 15 秒間吹鳴する。

10. 通信連絡系

ロケット打上げに際しては、第十管区海上保安本部鹿児島海上保安部および大阪航空局種子島空港出張所に連絡員を派遣するとともに、射場との間に連絡専用回線を開設し、緊密な連絡にあたる。主な通信連絡先は、別表に示す。

11. リハーサル（予行演習）

次の予定でリハーサルを実施する。

ア MT-135P型 T-3、4 号機 8月29日(火)

イ LS-C型 6 号機 8月26日(土)

なお天候その他の都合により、リハーサルの予定を変更することがある。

12. 報道関係

- (1) 報道関係者には、安全確保に留意しつつロケットならびに射場内の施設および設備を公開し、取材の便宜をはかる。
- (2) ロケットの打上げ結果については、打上げ終了後、実験主任から概略の発表を行なう。

13. ロケットの性能、諸元

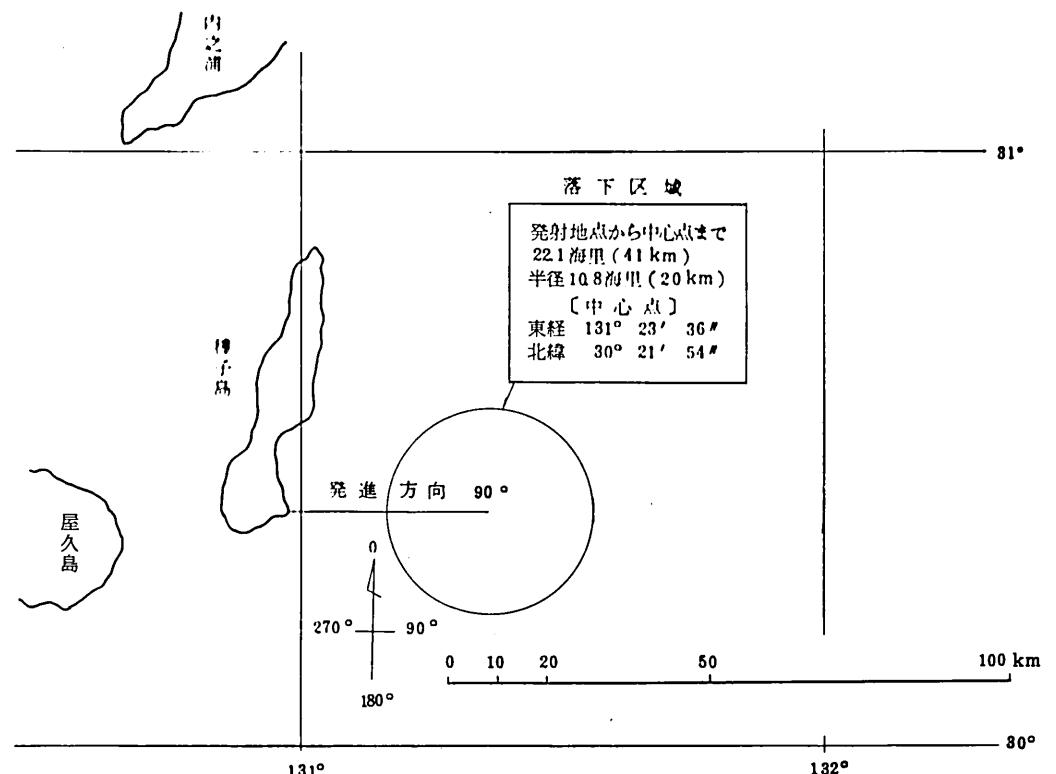
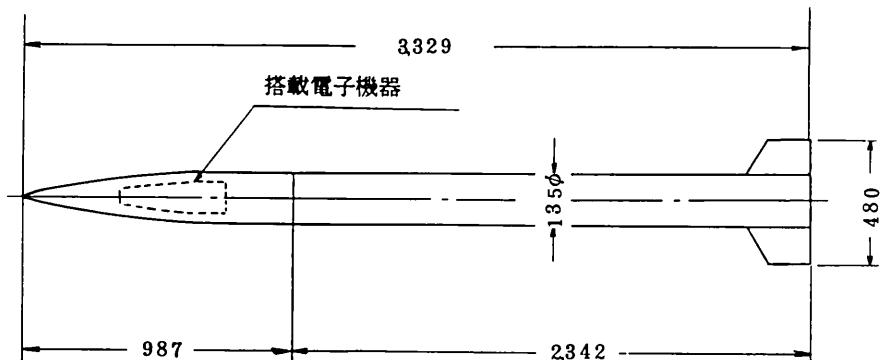
機種 諸元	MT-135P型 T-3、4号機	LS-C型 6号機	
		1段目	2段目
形 式	固 体	固 体	液 体
全 長 (mm)	3329	11135	3205 7930
外 径 (mm)	135	566	600
全 重 量 (ton)	0.07	2.53	
推 薬 重 量 (kg)	375	670	660
* 平 均 推 力 (ton)	0.8	171	33
燃 焼 秒 時 (sec)	10.5	8.8	3.75
発 射 高 度 角 (°)	80	75	
発 射 方 位 角 (°)	90	100	
到 達 高 度 (km)	5.2	6.1	5.9
水平飛行距離 (km)	41	3.5	160.8
搭 載 機 器	テレメータトランス ポンダ 温 度 計	ジャイロ機器、テレメータ送信器 レーダトランスポンダ、ジンバル制御装置 ガスジェット制御装置 応急停止受信装置	

注) *印は海面上の値

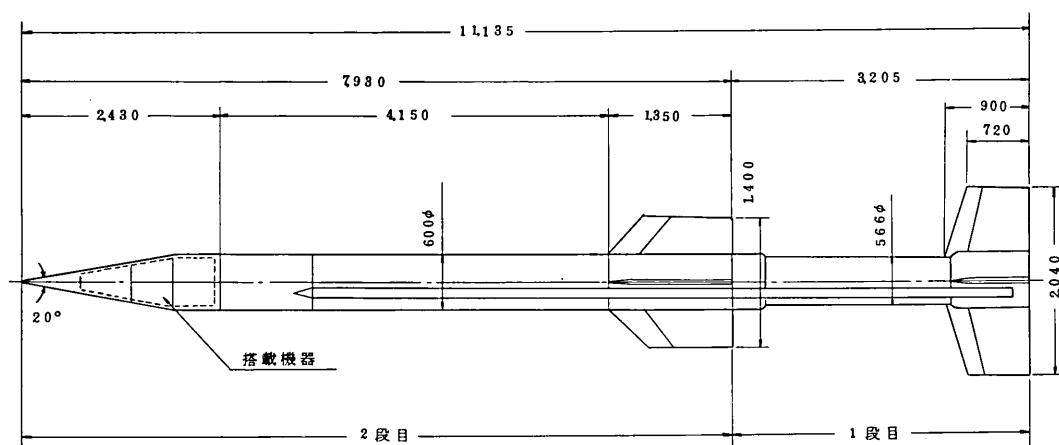
MT-135P型T-3、4号機落下予想区域

14. ロケットの概要

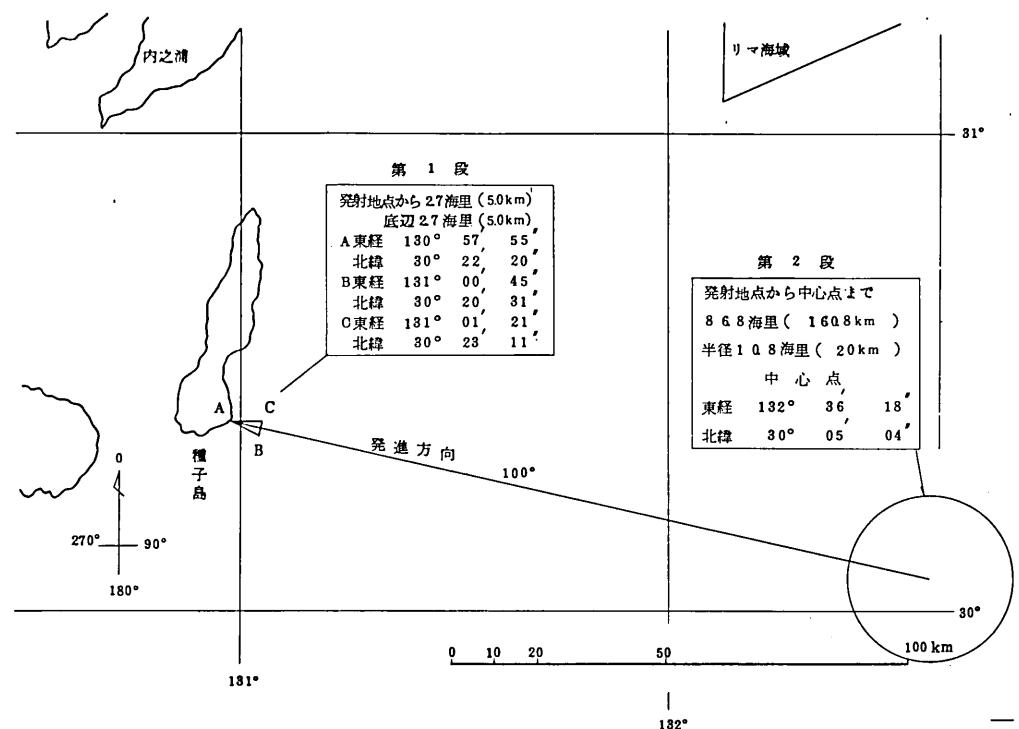
MT-135P型T-3、4号機 (30分の1)



LS-C型6号機 (100分の1)



LS-C型6号機落下予想区域



第十管区海上保安本部

大阪航空局種子島空港出張所

種 子 島
宇宙センター

- 種子島測候所
- 種子島灯台
- 種子島警察署
- 熊毛支庁
- 西之表市役所
- 中種子町役場
- 南種子町役場
- 南種子上中駐在所
- 種子島電報電話局
- 九州電力熊毛営業所
- 西之表記者クラブ

広島県庁水産課

- NHK鹿児島放送局
- 南日本放送
- 宮崎放送
- 共同通信鹿児島支局
- 時事通信鹿児島支局
- 鹿児島県警察本部
- 鹿児島県企画部企画課
- 鹿児島県水産商工部漁政課
- 運輸省航空局東京航空交通管制部
- 運輸省航空局福岡航空交通管制部
- 東京大学鹿児島宇宙空間観測所
- 日本鰹鮪漁業協同組合連合会
- 鹿児島地方気象台
- 鹿児島貨物船海運組合
- 鹿児島旅客船組合
- 松戸中央無線局
- 関係漁業無線局 8 局
- 鹿児島漁業協同組合連合会
- 宮崎県経済部水産課
- 宮崎県漁業協同組合連合会

- 広島県漁業協同組合連合会
- 愛媛県庁水産課
- 愛媛県漁業協同組合連合会
- 日本西海漁業協同組合
- 大分県庁漁政課
- 大分県指導漁業協同組合連合会
- 高知県庁水産課
- 高知県漁業協同組合連合会
- 宮崎県各漁業協同組合
- 鹿児島県各漁業協同組合
(種子島含む)
- 屋久島警察署

一般加入電話

専用電話